

◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の開催期間が変更になっています。状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

1. 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】 (https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2020/t_tsuji/index.html)

5月19日(水)～6月21日(日)

企画展：異才 辻晋堂の陶彫「陶芸であらざる」の造形から陶彫(※)による抽象作品で国際的に活躍した彫刻家、辻晋堂(1910～1981)の生誕110周年を記念する企画展「異才 辻晋堂の陶彫」を開催します。本展では、辻が陶彫を制作した京都時代に焦点を当て、1958年の第29回ヴェネツィア・ビエンナーレ出品作品を始めとする陶彫作品と版画・素描作品から、その表現の世界を紹介します。(※) 陶土を用いた彫刻作品



2. 横山美術館【愛知・名古屋】 (<https://www.yokoyama-art-museum.or.jp/event/>)

3月14日(水)～7月19日(日)

企画展：京焼—その技が歴史をつくる
本展では明治・大正時代を中心に、伝統を守りながら革新的な陶磁器を生み出そうと研鑽を重ねた、京焼の美の世界を紹介いたします。



3. 多治見市モザイクタイルミュージアム【岐阜・多治見】

(<https://www.mosaic-tile-museum.jp/exhibition/worldmosaic/>)

1月25日(土)～9月6日(日) ※5月26日から、予約制により再開。

小企画展：世界のモザイクタイル・今
モザイクタイルミュージアムでは、「モザイク会議」のご協力を得て、ヨーロッパの先鋭的なモザイク作家とともに、「モザイク展 2019」における受賞作品や参考作品等を紹介することとなりました。



4. 大阪市立東洋陶磁美術館【大阪・中之島】 (<http://www.moco.or.jp/exhibition/schedule/?e=563>)

6月2日(火)～11月8日(日)

特別展：天目—中国黒釉の美

日本には数多くの中国製の天目(茶碗)が伝世しています。なかでも近年国内外で話題となっている曜変天目と油滴天目は中国宋時代に建窯でつくられた黒釉茶碗の最高峰で、当館には日本伝世の油滴天目で唯一国宝に指定されている作品が所蔵されています。本展では、中国陶磁の歴史において、重要な系譜の一つである天目をはじめとする黒釉陶磁にスポットをあて、当館所蔵品に個人所蔵の作品を加えた唐時代から宋・金時代の作品計24点により、中国黒釉の世界とその美に迫ります。なお、同時開催の特集展「現代の天目—伝統と創造」では、近現代の作家による天目作品を通して、伝統と創造による天目の多彩な表現をご紹介します。

